

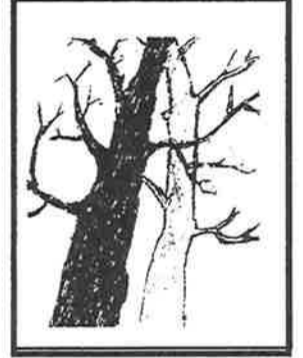


勘を働かせて投票しました

—参議院議員不在者投票—



発行所
養護老人ホーム
延命園
長崎市寺町32
(0958) 22-8563
(題字) 池田可宵先生



今夏、参議院議員の不在者投票が延命園の食堂で実施された。

国政選挙とはいえ前回の市長選挙のあとということもあってお年寄りの関心はまずまず。

木屋カネさん91才ただ今リハビリに奮闘中

近く選挙ポスターの掲示板が設置され候補者のポスターが貼られると、メガネとメモ用紙を持って、掲示板の前に目を近づけて右に左に歩きながら思索しています。

選挙公報はあとで届くので、先ずポスターでということでしょう。

そこでどのようなことを基準にして投票したか聞いてみました。

・よか男（この人ならいくらか頼りになりそうなしっかりした顔）



- ・やっぱり人物やろうね、あんまり口のうまか人はどうーでんよか。
- ・よかことばっかり言う人は好かんね。
- ・口ばっかりで実行力のか人は好かんね。
- ・履歴書を見てそして決める。カンを働かせる。
- ・男らしいキップのよか人女でもよかよ。
- ・入った途端、えらそうにする人はイヤね。
- ・自分に合うたごととしてくれる人、精神のよか人、政治のことばよくする人
- ・近所近辺をようしてくれ人
- ・ただ私らのことを一生懸命してくれる人、一本筋を通していく人いつも決めとっと。
- ・今問題になっとる収賄ばする人はいかんね
- ・なるだけ我々のためになりそうな人、名前とか評判のいい人
- ・信用があって経歴とか評判のいい人
- ・誰てねえー 逢うたことも話したこともなかけんよー解らんねー。
- ・党で決める。新聞読んだりテレビ観たりして、やっぱりこの人がよかと思う人をいれる。
- ・若か人がよか
- ・馴れた人やろね
- ・私達のためになる人
- ・たまにはイヤなことも言う人、せいばってん批判ばかりする人は好かんね
- ・福祉のほうによくしてくれる人
- ・老人のことばよくしてくれる人

—よう考えていれんばね—

- ・社会のためになるような人
- ・あんまり深くは考えんね誰がなってもねー
- ・年金ばあげてくれる人
- ・ときまぎまでしたちなみに我が延命園の投票率は全員参加の百%でした。



- 松崎 マツ 84才
がちやがちや食べんごとしよる。好き嫌いなし。
- 宮本 愛子 81才
「氣」を確かに持って、ねぎを食べること。
- 橋村 ムラ 81才
朝から自分でラジオ体操をしています。
- 服部 五一 79才
なんもなかー。
- 成川チヨノ 76才
寝てばかりは良くないので、できるだけ歩くようにしています。
- 寮母の村岡さん ?才
おいしいものを食べて、コーヒーを飲みながら、テレビを見てゆっくりする。
- 寮母の市田さん ?才
太るのを恐れず何でも食べることに。
大好きな音楽を聞きながらのんびりする。

延命園の15日間

大相撲星取大会

今回はグループワークで一番人気のある相撲星取大会のこぼれ話をいくつか御紹介します。

まず、対戦表を配るのが遅れると(午前中)、「今日はなかとね」と催促されます。予想を書く時は、例えばある居室ではAさんが東の方に○を記入(白星予想)すれば、Bさんは西の方に○と逆の方に書くように決めていたり、二人共同し

解答を書く所もあります(夫いよいよ結果ですが、指導員、入賞者にまつわるエピソードを混じえた表彰が、入居者や職員の笑いを誘いながらにぎやかに行われます。)

白熱した15日間が延命園で年に6回くり返されています。



ウチは何点やるか?

目は元気ですか②



入居者の眼科疾患の中で時に多いのは白内障です。その白内障について簡単に説明します。

<症状>

- ①かすんで見える
- ②まぶしくなる
- ③暗くなると見えにくくなる
- ④一時的に近くが見やすくなる
- ⑤二重、三重に見える
- ⑥目の痛みや充血はない

<治療法>

- ・薬による治療
(点眼薬や内服薬)
- ・日常生活に支障をきたすようになると手術により水晶体を摘出する
(手術後は眼鏡・コンタクトレンズ・眼内レンズ等を使用)



なるほど……目薬ば毎日きちんとさせばよかたたい

私の原爆記

坂本和子



核のない平和が、訪れることを祈るばかりです。四十年間、とくに臥すこともなく、生きておりますが、頭の方は、長時間下を向いて仕事をしますと割れるように痛み、胸はむかついてまいります。体に故障が生じた時など、レントゲンをとってもらいますが、年齢よりも骨が老化していてあぶないと言われます。

此の先、不安は募るばかりですが、「欲しがりません、勝つまでは」のモンペ穿きの青春をすごして来た私達です。耐えることだけは誰にも負けません。子育ても終わり、今から残りの人生を楽しく過ごせるのだと思います。

年々、原爆忌もお祭りさわぎになったような気がします。八月九日のサイレンを聞きますと、学友や亡母を思い、涙新たにしております。亡くなられたみな様のご冥福を祈り、短歌と俳

句を書き添え、ペンを置きます。

- ・焼けただれ、髪ふりみだし助け請う あの女の姿今も脳裏に
- ・被爆四十年、人それぞれに負う不安
- ・生きてたら、あれもこれもと亡母を恋ふ

※「私の原爆忌」は今回をもちまして終了させていただきます。坂本先生、ご協力ありがとうございました。(終)

5月

きんたろ

心

- 28日 磨屋小学校運動会へ
- 24日 引地(大正琴)様
- 20日 インターアクト様
- 17日 鶴鳴女子高校
- 16日 一泊旅行へ(嬉野温泉)
- 16日 くるみ会様
- 11日 松浦(カラオケ)様
- 10日 引地(大正琴)様
- 3日 中島川まつりへ
- 1日 散髪奉仕 金子他様

6月



- 5日 散髪奉仕 金子他様
- 6日 大谷(ハーモニカ演奏)様
- 7日 引地(大正琴)様
- 8日 松浦(カラオケ)様
- 14日 日帰り旅行へ(湯楽園)
- 17日 鶴鳴女子高校
- 20日 インターアクト様
- 20日 くるみ会様
- 21日 増田水産(魚寄贈・テレビ放映)様
- 引地(大正琴)様

ペンのしずく



足腰が弱らないように園では毎朝民謡体操で体をほぐす。声をかけ合い冗談を言いながら。

とかく集団生活の負の部分が強調されがちだが、互いに励まし合う姿がとてもいい。今や介護保険と在宅福祉がキーワードだが、静かに時には賑やかに老人ホームの生活は過ぎていく(も)